

開催日時 平成 29 年 8 月 29 日 (火) 会 場 神事協会議室

出席者 (○) 評価特別委員長 ○河村 副委員長 ○田川
 委員 ○洪・○精木・○島崎
 担当副会長 ○西倉
 班長 ○叶野・○平山・○吉川・○小松
 専門員 ×矢野・○唐戸・○古室・○吉岡(順)
 非木造専門 副委員長 ○後藤
 委員 ×池谷・○浦英二代理 絵美・×會澤・×山上

1. 会長あいさつ及び委嘱状授与

2. 自己紹介等

3. 報告事項

①配布名簿の確認

- ・河村先生の連絡先等欄を「元芝浦工業大学 SIT 総研客員教授」へ修正する
- ・唐戸専門員のメールアドレスを「ituki-2022@ac.cyberhome.ne.jp」へ修正する。

②平成 29-30 年度の組織運営について

- ・西倉副会長が組織運営図を説明。

4. 議 題

(1) 平成 29 年度の進め方等について

①評価委員会について (専門員の体制含む)

- ・西倉班長が副会長になったことに伴い、古室専門員が加わった。
- ・梶専門員が退任したことに伴い、唐戸専門員が加わった。
- ・班体制については下記とした。(叶野専門員長より説明)

班長	叶野 聡	吉川 謙司	平山 元英	小松 正道
専門員	矢野 武	唐戸 弘樹	吉岡 順一	古室 大悟

- ・今年度は昨年度に比べ多少少ないと思われるが、協力をお願いした。

②非木造専門委員会 (旧構造専門委員会) との連携について

- ・県内行政担当者向け「耐震診断について」講習会実施について

主旨：県内各市町村担当者 (神奈川県建築物耐震化推進協議会) の知識向上を通じて、県内の耐震化普及に広く貢献することを目的に実施。

日時：平成 29 年 2 月 2 日 (木) 午後

会場：波止場会館 4 階大会議室

出席：41 名

内容：県内各市町村の担当者向けに耐震診断の初歩的な下記内容。

1. 木造の耐震診断について
2. 非木造の耐震診断について
3. 質疑応答・意見交換

資料：東京都建築士事務所協会作成の東京都沿道耐震用のマニュアルを使用。

※ 平成29年度も同様な講習の実施希望が神奈川県建築安全課より打診があり、協力するとの回答をしていることも含め、西倉副会長より報告された。

- ・評価委員会の協力を得ながら事業を実施していくことが確認された。

(2) 意見交換

① 質問等

- ・非木造専門委員会は前からあった委員会ですか？（精木先生）
→ 昨年度までの4年間は、構造専門委員会として活動をし、今年度名称が変更となった。
- ・非木造専門委員会のビジョンは？
→ 構造専門委員会を設置したのは、神奈川県内の沿道耐震物件に対応するためと構造技術者の育成のためである。
→ 免震や制震等についても事業内容に盛り込んで欲しい。
→ 取り扱う予定である。
- ・非木造専門委員会の名称が良くないのでは？
例えば、エンジニアリングストラクチャ等にしては？
→ 直ぐには名称変更できないが、検討する。

(3) その他

- ・なし

29～30年度 第2回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 建築物耐震改修評価特別委員会及び専門員会 議事録			
開催日時	平成30年12月18日(火)	会場	神事協会議室
出席者 (○)	評価特別委員長 ○河村 副委員長 ○田川 委員 ×洪・○精木・×島崎 担当副会長 ○西倉 班長 ○叶野・○平山・○吉川・○小松 (専門員) ×矢野・○唐戸・○古室・○吉岡(順)		
<p>1. あいさつ 西倉副会長より</p> <p>2. 報告事項</p> <p>・なし</p> <p>3. 議題</p> <p>(1) 評価手数料表の改定等について</p> <p>①追加料金の場合の実費相当額について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価手数料の基本回数を超過した場合、通常の場合は下記の金額(金額には事務手数料も含む。)を加算する。 但し、特殊なもの等(診断改修評価含む)の場合は、都度算定させていただきます。 なお、これによらない場合は、評価の打ち切り、再申し込みとなります。 専門員会 36,000円/回(税抜) ※ 事務手数料含む 評価委員会 102,000/回(税抜) ※ 事務手数料含む <p>以上説明し、手数料表の後に記載することが了承された。理事会にて上程することとした。</p> <p>②評価の打ち切り、再申し込みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記①の通り。また、手数料表の<注意>(1)を以下のように修正する。 <p><注意></p> <p>(1)上記の手数料表の金額は、原則として評価委員会開催2回、専門員会3回までの基本額とし、それ以上の回数が開催された場合は、実費相当額を加算、又は終了再申し込みとなります。</p> <p>(2) 評価概要書について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構造別、評価区分別にひな形を作成することとした。 SRC造担当：小松班 RC造担当：吉川班 S造担当：平山班 総合チェック：叶野班 ・各班へ過去の構造別評価概要書と「茅ヶ崎商工会議所会館」の評価概要書を見本にメール送付する。 ・フォント10ポイント、行間をそろえる。1.～4.は統一とする。 ・チェックリスト化についても検討する。 <p>(3) 講習会企画について(非木造専門委員会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意匠設計者のための既存建物改修に伴う構造計画講習の企画について説明し、意見を求めた。 <p>主旨：既存の建物を改修する際、施主より躯体壁を壊して開口を確保できないかなどの、構造躯体の変更に関する相談を受けた経験は誰もが思うと思いますが、その際、判断を間違えと取り返しのつかない事態となります。最悪賠償責任を問われることもあります。早い時期に構造の専門家に相談するのは安全な方法ですが、基礎的な構造知識があれば施主への説明や構造の専門家</p>			

に相談する時期や必要性を正しく判断することができます。その基礎知識取得のための講習会を企画。

<意見等>

- ・新耐震基準の前か後で対応が異なる。
- ・かなり説明が難しいと思われる。資料の収集が出来るのか。
- ・講習会というよりは、勉強会か。
- ・庇（二次部材）を付けた場合の対応は。

以上の意見を踏まえ、講習実施について検討することとした。

(4) 意見交換

- ・時間が無く、未実施。

(5) その他

- ・なし

29～30年度 第4回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 非木造専門委員会 議事録			
開催日時	平成30年12月11日(火)	会場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ×西倉 委員長 ○古室 副委員長 ×後藤・○小松 委員 ×池谷・×會澤・×山上		
<p>1. あいさつ 古室委員長より</p> <p>2. 各種報告</p> <p>①前回議事録の確認</p> <p>②平成31年度事業計画および予算(案)の報告</p> <p><収入の部></p> <p>①構造関係講習会 受講料 4,000円×60名=240,000円</p> <p>②現場見学会(現地集合・解散) 参加費 3,000円×30名=90,000 収入合計 330,000円</p> <p><支出の部></p> <p>①構造関係講習会 一式 86,000円</p> <p>②現場見学会(現地集合・解散) 一式 19,000円</p> <p>③行政との連携 一式 20,000円 支出合計 125,000円</p> <p><会議> 6回開催</p> <p>以上を提出したことを報告。</p> <p>③その他 → なし</p> <p>3. 議題</p> <p>(1) 12/21 委員会成果報告会の報告資料作成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古室委員長が作成することとした。 内容としては、以下とした。 <ul style="list-style-type: none"> ・会議開催(12/11分) ・(仮称)意匠設計者のための既存建物改修に伴う構造計画勉強会を実施予定。 <p>(2) 講習会開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)意匠設計者のための既存建物改修に伴う構造計画勉強会の開催について、古室委員長より企画内容を説明。 <p>主旨：既存の建物を改修する際、施主より躯体壁を壊して開口を確保できないかなどの、構造躯体の変更に関する相談を受けた経験は誰もがあると思いますが、その際、判断を間違うと取り返しのつかない事態となります。最悪賠償責任を問われることもあります。早い時期に構造の専門家に相談するのは安全な方法ですが、基礎的な構造知識があれば施主への説明や構造の専門家に相談する時期や必要性を正しく判断することができます。その基礎知識取得するために実施。</p> <p>内容：1. 改修に伴い注意しなければならない法規定(仕様規定)</p> <p>2. RC造(ラーメン・壁式)構造基礎知識(配筋など学会規準)</p> <p>3. 事件事例</p> <p>4. 間違わないための構造計画</p> <p>開催予定は、3月とし、内容及び資料について検討していくこととした。</p> <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし 			